

視線が抜けるウッドデッキ

限られたスペースにあえて設けたウッドデッキは、視線の抜けをつくるための贅沢な空間。リビングの換気にも役立つ



POINT  
空間をより広く感じる  
視覚的なテクニク

限られた空間をより広く感じられるように、視線が抜けるポイントをリビング各所に設けました。見晴らしを良くすることで閉塞感を排除し、家族4人がのびのびとくつろげるように工夫しています。



階段下のピアノコーナー

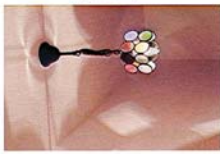
オーブン階段のすき間から吹き抜けが見える階段下のスペースは、娘さんのピアノを配置。ダイニングへの動線を気にせず居室として活用している

南の窓から光が差す  
明るい吹き抜け

リビングの南側に設けた幅1mの吹き抜け、わずかなスペースも縦の空間を活用することで、リビングに開放感をもたらしている



玄関のペンダント照明と同じシリーズのグラケット照明。白い階段裏にアクセントを添えている



玄関の照明は、手作りのステンドグラスを用いた愛らしいペンダント。小ぶりでは温感のないものをチョイスした



夫婦ふたりで家づくりを研究。  
間口が狭く奥行きの長い土地を  
開放的に見せる工夫を凝らして

…安藤さん…

1階にある子ども部屋の出入口の引き戸。1階の居室以外の居室の扉は、すべて引き戸で統一した。閉閉時にスペースを塞ぎないで、その分居室を広く使える

明るいやつ11歳のリビング。ソファの上に広がる吹き抜けで、部屋よりも広く感じる。無垢のハイイン材と白い漆喰壁がナチュラルな印象



夫婦で協力して情報を集め  
土地に合った間取りで  
過ごしやすい住まいを実現

娘さんの進学を機に、家づくりを考えた安藤さん。ご主人は土地と資金計画、奥さまは土地に合う間取りについて勉強し、思い通りの家を建てました。

大きさ、接道、向きなどの3点において予算と条件をクリアした、約25坪の長方形の土地を購入。間口が狭く奥行きが長い、利用が難しい土地に、自然素材を使った明るく快適な家を建てたい

と、雑誌や本、モデルハウスなどで情報収集を重ねました。情報から得たアイデアをノートにまとめ、家の間取り

や採光明確なイメージを描いた奥さま。鉄を温感を上まを、家の断りに凝らしています。2階のリビングとダイニングは吹き抜けを設け、実際の面積以上の広さを演出。北側のダイニングには窓を配り、明るく開放的な空間に仕立てました。各室まごなぐ廊下はすべて居室の壁として活用。2階の小屋裏は、ミニコーナーや子どもが遊べる空間として、スペースを最大限生かしています。

限られた土地ながらこそいこうと「生まれるごます」と奥さま。ハンテをマンションに受ける知恵と情熱で、幸せな住まいを手に入れました。



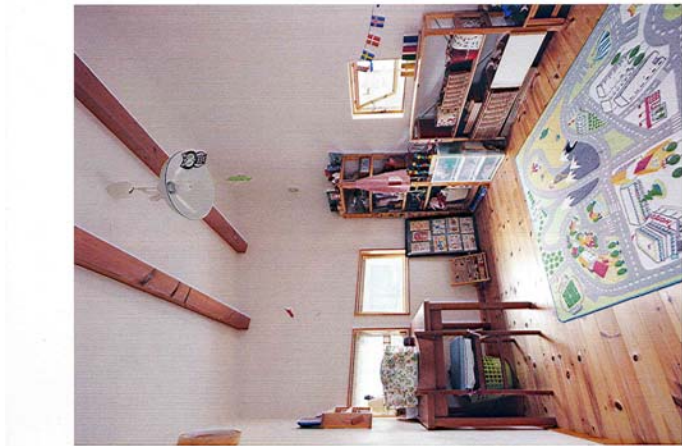
玄関はアールの扉と小ぶりの照明で、圧迫感を軽減。階段下の空間には、ガーデン用品やそらじ道具を収納できるスペースを設けた



踏み板に磨き上げられるオーブン階段は、娘さんがお気に入りのコーナー。後ろの高い天井空間を上手に活用している



上/北側の洗面室は、高窓を設けて十分な明るさを確保。シンク下には収納力のある扉の飾り棚にはおしやれなバス用品が並ぶ。下/ダイニングの一角にある茶スペースのトイイル。白いインテリアと窓からの光が、明瞭感やわらわらしている。



2階の4層階は子どもたちの遊び場として、プレイスペースとして活用。遊びの1角では壁もまた廊下のシンクを兼ねてい



天窓から光が注ぐダイニング。北側のわずかな5.5畳のスペースを、天井高と採光を工夫することで、明るいくつろぎの空間に仕上げた



ダイニングと距離が近く、食事の支度やしやすキキッチン。茶色の扉の向こうは洗面室で、料理をしながらはかの家事もできる

洗面室ウルのまわりにあしらった、5cm角の白いスキーンコ座のタイル。光沢があるシンブルでナチュラルな表情に、雑貨や花がよく映える。



**安藤さんの暮らしてやすい間取りを手に入れるコツ**

気に入った間取りや採光の写真をストックアップして、打ち合わせに活用しました。専門知識がなくともビジュアルがあれば、自分の意志をプランに反映できます。若流でスケッチも描いて、納得いくまで要望を取り入れてもらいました。

2階のロフトから小部屋に長く階段は、吹き抜けから窓から光が入り、明るく空間



- DATA**
- 家族構成  
夫婦+子ども2人
  - 敷地面積  
83.28㎡(25.19坪)
  - 建築面積  
49.74㎡(15.05坪)
  - 延床面積  
1F/41.55㎡(12.56坪)  
2F/45.60㎡(13.79坪)  
合計/87.15㎡(26.36坪)
  - 設計・施工  
タウンスホーム

## Case 04 高い天井と明るい天窓が小さな空間をより広く演出して

### POINT ナチュラルな空間に合わせた無垢の木の飾り棚

キッチンや洗面室など水まわりのコーナーは、ナチュラルな雰囲気に合わせて、木の飾り棚を造りつけました。木の質感を感じ飾り棚には、デザイン性のある雑貨や日用品を並べて、センス良くコーナーをまとめています。



木の質感に合わせてセンス良くアレンジ

洗面室の一角に造りつけたツカ材の飾り棚。木の質感に合う白いアメリカ製のスイッチプレートをあしらって、シンプルでセンスあるコーナーに



やさしい雰囲気のバイン材の棚

キッチンの吊り戸棚下につけたバイン材のナチュラルな棚板は、角が丸くやさしい雰囲気で、お気に入りのキッチン用品を並べている



洗面室上のデッドスペースは、棚板をつけて収納として活用。使用頻度の低いキッチン用品や日用品のストッカーを置いている

母子3人でわかつつタイム。廊下に接する窓の温は、通気用の小さな窓を2つ配して、北風の布で目隠しのシェードを手作りした

